

# 株式会社 電業社機械製作所

所在地: 三島市 創業: 1910年 資本金: 8億1千万円

従業員数: 578人(男性 504名、女性 74名) 業種: 機械器具製造業

## ◆創業100年を超える老舗ものづくり企業が男性に偏った社員構成を変革するためWLBの向上とダイバーシティを推進。

・少子高齢化の進行に伴い、男性に偏った職場環境の維持や新たな雇用確保への危機感からワーク・ライフ・バランスの向上とダイバーシティの推進を中期経営計画の柱として取組を推進。



(きつかけ) 取組前

### 女性社員の採用

- ✓ ポンプの製造業態から従前より男性社員が9割を占める社員構成となっていた。少子高齢化による雇用確保への危機感から、社長より女性社員の管理職登用を見据えた基盤整備、女子社員採用比率のアップを指示された。
- ✓ 女性管理職がゼロ、人材確保のため女性社員が長期に渡り働きやすい環境整備を図るため、まずは、係長級の女性社員を意識的に増やして行く必要があった。

### プライベート時間の充実

- ✓ プライベート時間の充実によるワーク・ライフバランスの向上を目指すため、時間外労働の削減を図る必要があった。

取組後(効果)

### 女性社員の採用

- ✓ 女性社員の比率を上げ2018年度で女性採用は全体の40%(女性6名/全体15名)を達成し、社員の女性比率は7.9%→10.3%に増加した。
- ✓ 2015年より女性管理職の登用を見据えて2年間で係長級社員を4%から12%に増加(10名/83名)、2016年には社内初の現業部門での女性社員採用を実現、2017年に2名の社員採用に繋がった。

### 働きやすい環境整備

- ✓ ノー残業デイや有給休暇の取得促進と合わせて2017年は前年比で時間外労働が18%削減できた。
- ✓ 平成30年5月くるみん認定取得。

## 取組内容や仕組み

### 2016年より採用比率のアップを展開

- ✓ 女性社員は少ないものの定着率がいいことから、まずは女性社員の採用比率を上げるための企業説明会、近隣の高校へのアピール等、積極的な採用活動に取り組んだ。

### 女性社員ニーズの拾い上げを推進

- ✓ 社内にロールモデルとなる女性社員がいないことから、不安に思う女性社員のために企業側としてバックアップが必要と感じ、女性相談窓口を開設、社員のニーズや意見、疑問を拾い上げる体制を構築。

### 短時間正社員制度の導入

- ✓ 正社員だけでなく育児休業復帰後のパート社員を対象に、短時間勤務制度を選択できる仕組みを導入。社員との調整により4時間50分勤務を可能とし、更に短い短縮勤務を検討、社員のニーズに合わせたより多様な働き方を可能とした。短時間勤務制度は、3歳から小学校就学前まで拡充。

### 通勤緩和制度の導入

- ✓ 中学生未満の子を持つ短距離通勤社員に、通常許可されない車通勤を緩和して許可、子育て世代への負担軽減、働きやすい環境整備の取組を実施。